

## 松本市からのごあいさつ

松本市

松本市は、今年、明治40年の市制施行以来、100周年を迎えます。この記念すべき年に、伝統ある第48回日本脈管学会を、松本市で開催いただきますことに、まずもって、感謝申し上げます。日本はもとより、世界の医学界をリードする皆様が一堂に会し、日頃の研究成果を発表するこの会が実り多きことを願うとともに、皆様のお越しを心から歓迎申し上げます。

松本は、3つのガク都として知られています。一つは、山の都、岳都です。近代アルピニズムの黎明とともに、松本は、アルピニストのふるさととなり、夏は登山客で賑わい、平成の大合併により、東は、標高2000メートルの美ヶ原から西は、上高地、北アルプスまで、名峰、槍、穂高をはじめ3000メートル超の山を9座数えています。そして、学問の都の学都。明治初期から国家百年の計として教育を重んじて来たこの町には、そのシンボルとして、国の重要文化財に指定されている「旧開智学校校舎」、近い将来これも重文に指定される期待が高い、信州大学のルーツの一つである「旧制松本高等学校本館・講堂」が往時のままに保存されています。3つ目は、音楽の楽都。戦後、スズキメソードで知られる、鈴木鎮一先生が才能教育運動を花開かせたのが松本で、運動の輪は世界に広がり、メソードに学ぶ生徒は、全世界で30万人とも40万人とも言われ、夏期学校が開催される8月には、様々な国から生徒が松本を訪れ、楽器を手に街を散策する様は、松本の夏の風物詩でもあります。平成4年からは、世界的な指揮者、小澤征爾総監督のもと、サイトウ・キネン・フェスティバルが開催されるなど、世界にその名を知られています。

松本は、国宝松本城に代表される歴史文化遺産と豊かな自然に恵まれ、四季折々の彩りが美しく、蔵造りの建物が多く残る中町通り、江戸時代の長屋門を模した露天が続く縄手通りなど、そぞろ歩きも楽しめる街です。また、学会が開かれる10月は、松茸や新そばなどの季節。古城と北アルプスに沈む夕日、そして中秋の名月をめでながらの松本城二の丸庭園での野外パーティーはまた格別で、松本ならではの皆様へのおもてなしと自負しております。

どうか、ご家族でお越しいただき、アフターコンベンションの週末を、行く秋の松本で心ゆくまでお楽しみください。